

Ultra Wide SCSI PCI Board
REX-PCI33
補足マニュアル

Windows2000 でのインストールについて

| | | |
|---|--------------------------------------|----|
| 1 | .Windows 2000 での REX-PCI33 のインストール | 1 |
| | 提供ソフトウェアについて | 1 |
| | インストールの流れ | 1 |
| | 使用上での制限 | 2 |
| | 新しいハードウェアの検索ウィザード | 2 |
| | ドライバインストールの確認 | 5 |
| | SCSI ユーティリティのインストール | 7 |
| 2 | . SCUINICN - SCSI コンフィギュレーションユーティリティ | 8 |
| | プログラム起動方法 | 8 |
| | コンフィギュレーション画面 | 9 |
| 3 | . SCSI ボード経由で Windows 2000 をインストール | 11 |
| 4 | .Windows2000 トラブルシューティング | 12 |
| | REX-PCI33 ドライバを完全削除するには | 12 |
| | Device のプロパティ - SCSI のプロパティでの設定がきかない | 13 |
| | FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合 | 14 |
| | スキャナを検出できない場合 | 14 |
| | MO/PD でフォーマットが完了しない場合 | 14 |
| | ドライブ名が割り当たらない場合 | 15 |

2000 年 2 月

第 1.0 版



1 .Windows 2000 での REX-PCI33 のインストール

ここではREX-PCI33 Ultra SCSI (FAST-20) PCI BoardをWindows 2000上で使用するためのドライバ組み込み手順を説明しています。

また、REX-PCI33 Windows 2000 Setup Diskに入っているREADMEファイルには本マニュアルに記載できなかった最新情報がありますので合わせてご覧ください。

本書は、日本語版Windows2000最終評価版 (Build 2195) で確認した内容を基に説明しています。Windows2000正式版において内容が異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

提供ソフトウェアについて

REX-PCI33 Windows 2000 Setup Diskには次のソフトウェアが含まれます。

[Windows 2000 用]

- Windows 2000 用 SCSI ミニポートドライバ(REXPCI33.SYS)
- SCSI コンフィギュレーションユーティリティ(SCUINICN.EXE) 1

1 : ユーティリティのインストール(P7)を行わないと実行できません。

フロッピーディスク内のディレクトリ階層構造やファイル名については同ディスク内のREADMEファイルを、テキストエディタ等を使用して確認してください。

READMEファイルにはマニュアルに記載できなかった最新情報がありますので必ずご覧ください。

インストールの流れ

インストールの流れを以下に示します。

使用上での制限事項の確認 P2

実際の作業を行う前に確認しておいてください。



新しいハードウェアの検索ウィザード P2

REX-PCI33 を動作させるためのドライバ (ソフトウェア) を組み込む作業です。



ドライバインストールの確認 P5

ドライバの組み込みが正しく完了したか確認する作業です。



SCSI ユーティリティのインストール P7

REX-PCI33 を有効に使うためのソフトウェアを組み込む作業です。



SCSI 機器へのアクセス

使用上での制限

- Device のプロパティにある SCSI プロパティ画面の「タグ付きキューを無効にする」「同期転送を無効にする」を設定しても実際の動作には反映されません。
タグキューや同期転送の設定は、REX-PCI33 Windows 2000 Setup Disk に含まれる SCSI コンフィギュレーションユーティリティを使用して行ってください。
- SCSI ボードに接続された CD-ROM ドライブでの音楽 CD 再生では、お使いの CD-ROM ドライブが「デジタル CD 再生」に対応していない場合、その音声はパソコン本体の内蔵スピーカからは出力されません。CD-ROM ドライブのライン出力またはヘッドフォン端子から出力されます。
WDM ドライバでの音楽 CD のデジタル抽出機能
- パソコンをスリープにする時 SCSI 機器の電源を切ることはできません。
Windows の終了での [休止状態] を選択した場合には、SCSI 機器の電源を切ることが可能です。

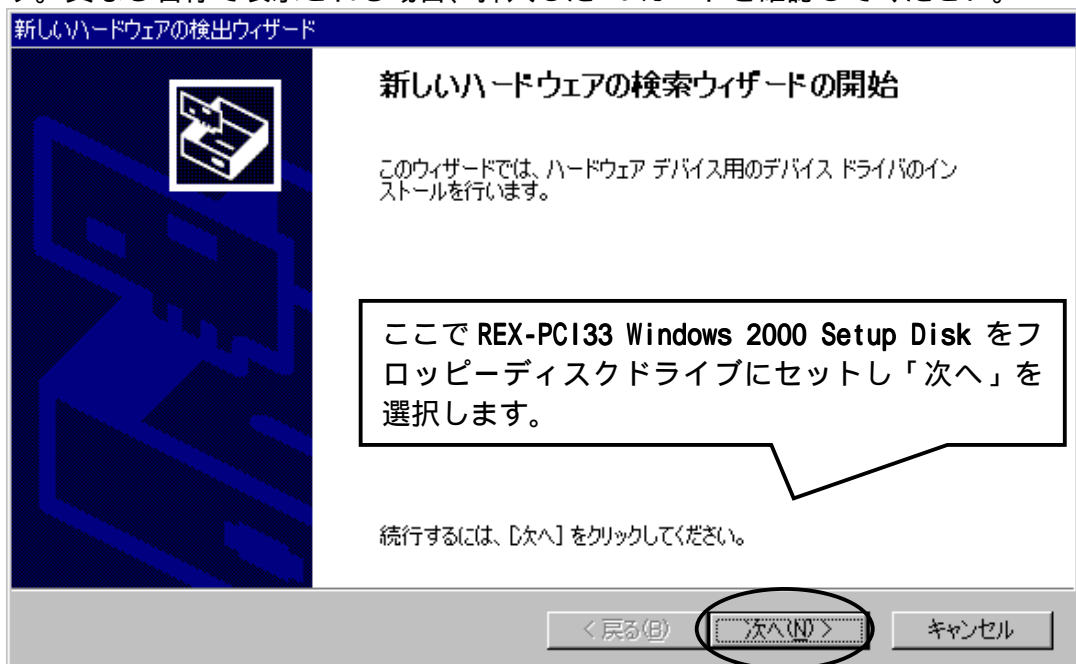
新しいハードウェアの検索ウィザード

作業が自動的に開始されます。以前にインストールを行ったが、途中で失敗し再度新たにインストールを行いたい場合、トラブルシューティングの「REX-PCI33 ドライバの完全削除するには」の項目 (P12)を行ってください。

Windows 2000 へ Administrator のユーザ権限を持つユーザでログインします。

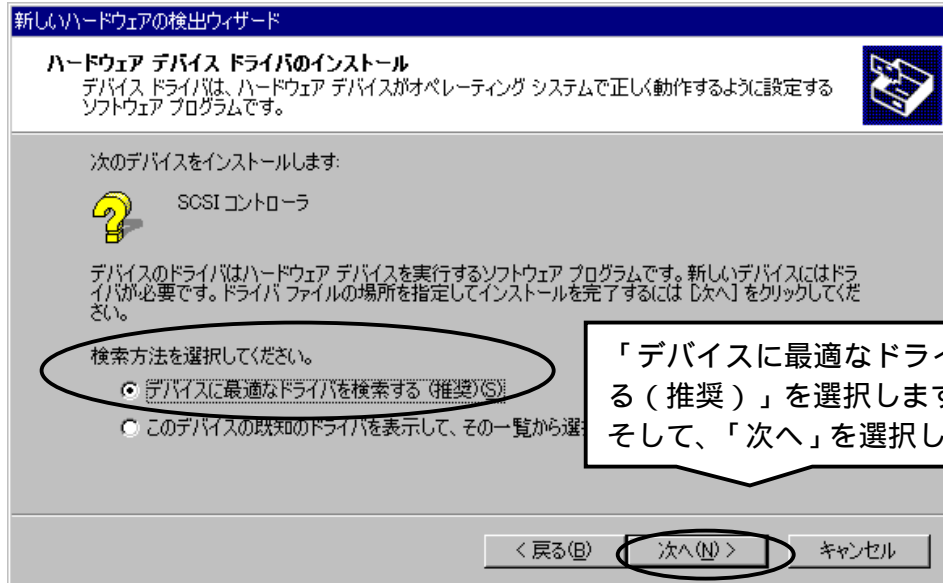
1. 新しいハードウェアを追加するための画面が表示されます。

新しいハードウェアの追加ウィザードが起動され REX-PCI33 を以下のように認識します。異なる名称で表示される場合、挿入した PC カードを確認してください。

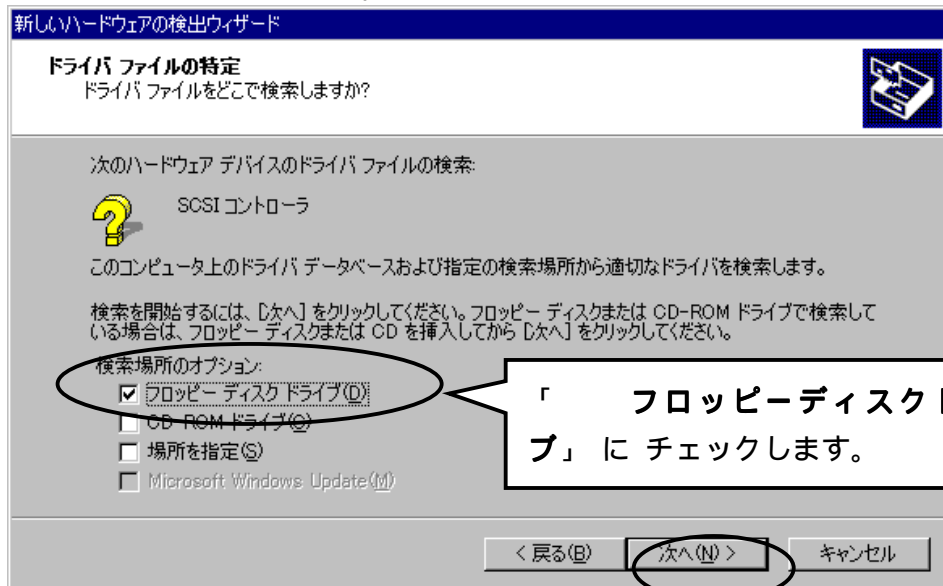


自動的にフロッピーディスクから設定用ファイルを読み込みます。

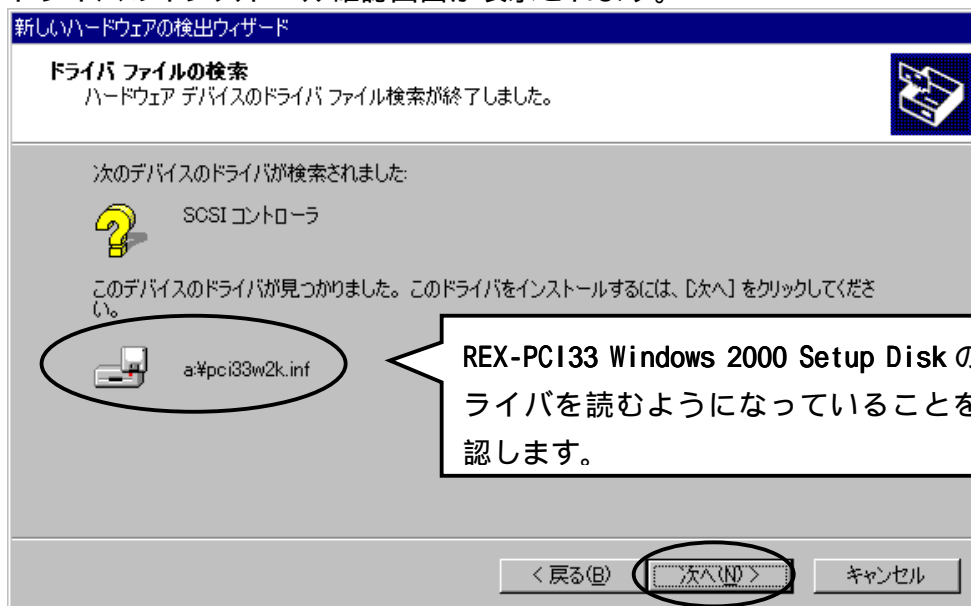
2. 検索方法選択画面になります。



3. 検索の開始画面になります。

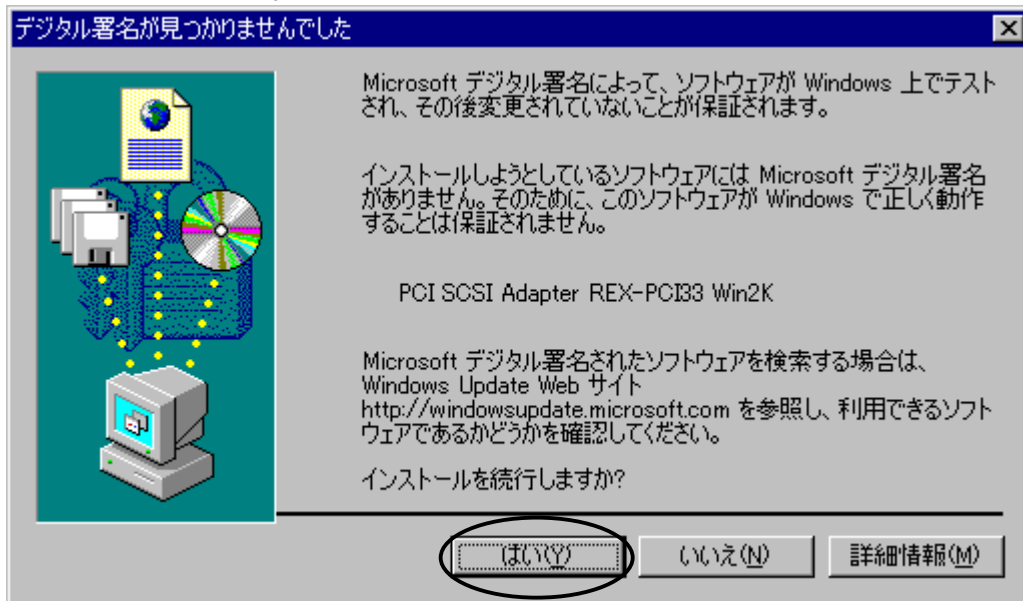


4. ドライバのインストール確認画面が表示されます。

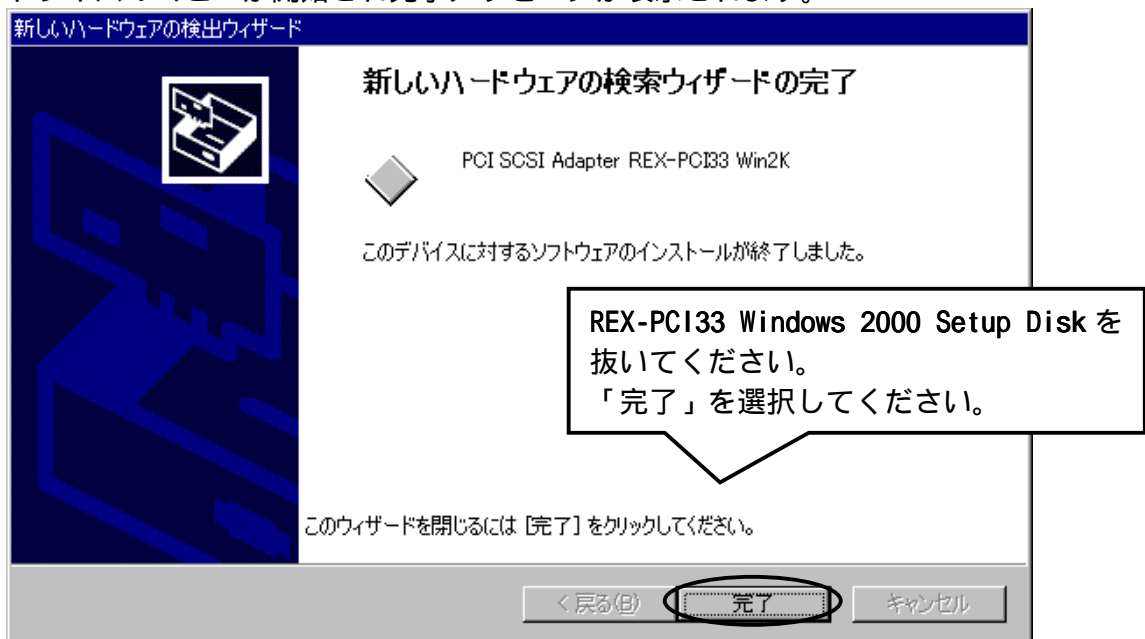


Windows2000 での REX-PCI33 のインストール

5. 「デジタル署名がありません」と表示されますが、そのまま [はい] を押してインストールを続行します。



6. ドライバのコピーが開始され完了メッセージが表示されます。



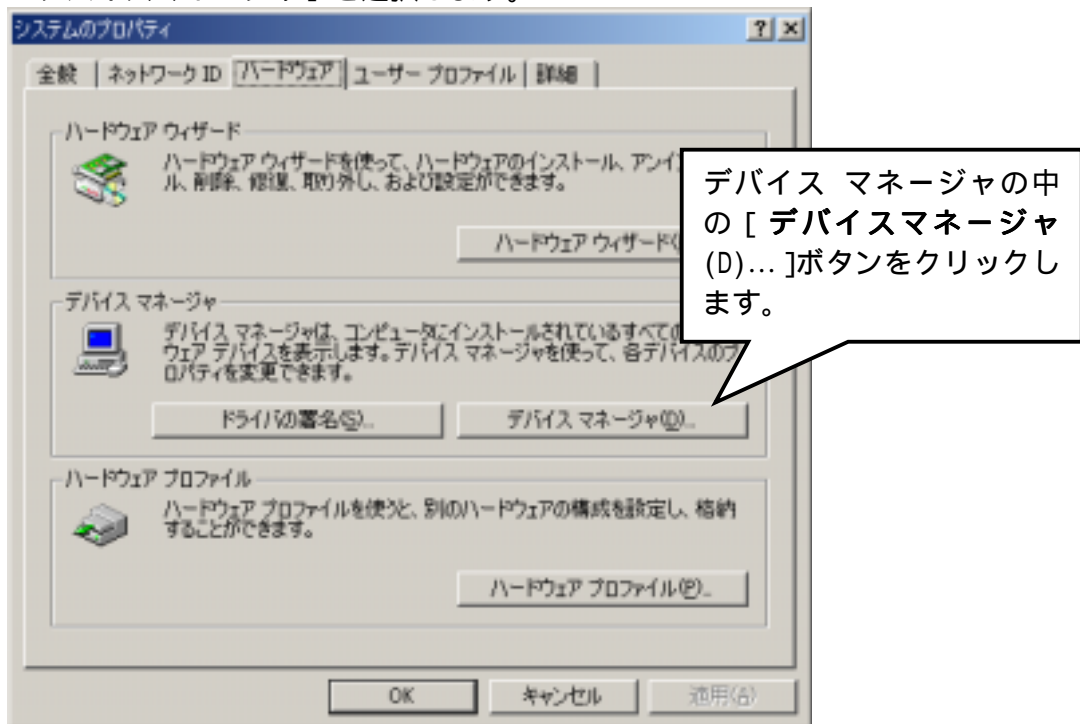
ドライバインストールの確認

ドライバのインストールが正常に行われ動作しているかの確認を行います。
 ここでの確認は、パソコン上で REX-PCI33 が正しく動作しているかの確認になります。

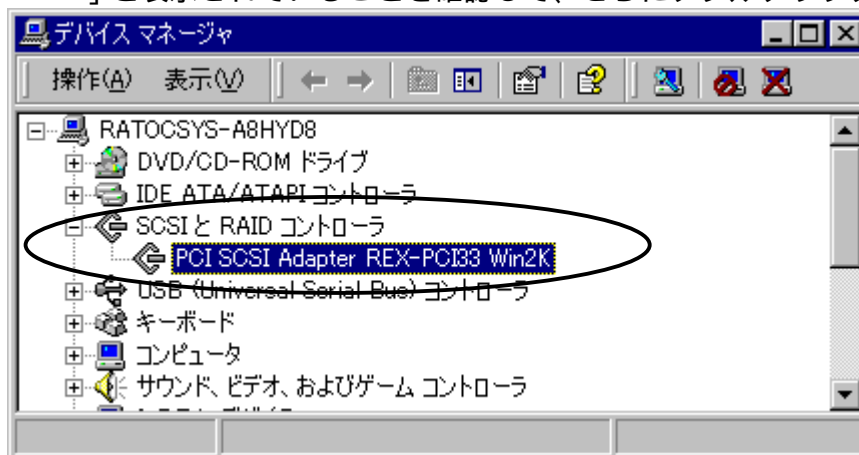
1. コントロールパネルのシステムを開きます。



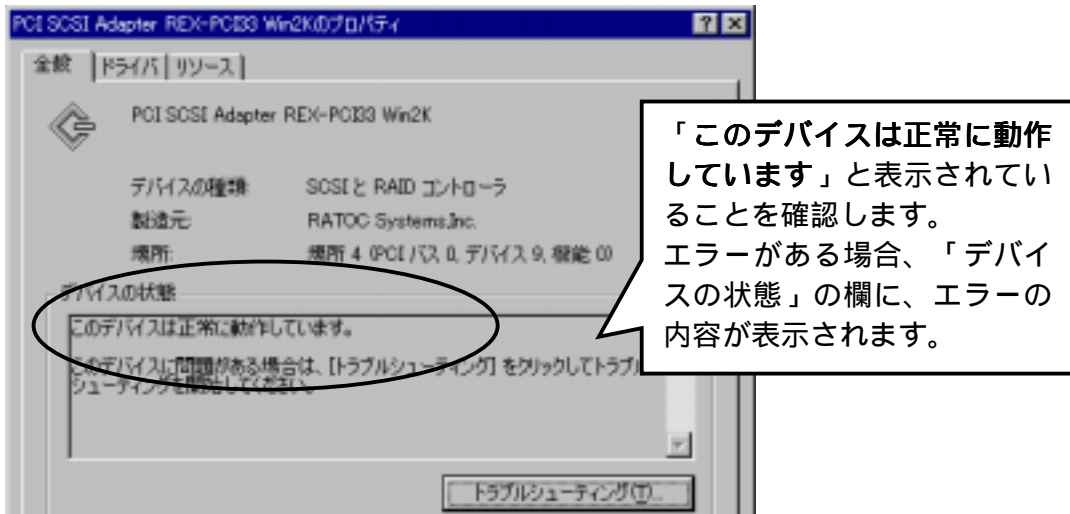
2. 「デバイスマネージャ」を選択します。



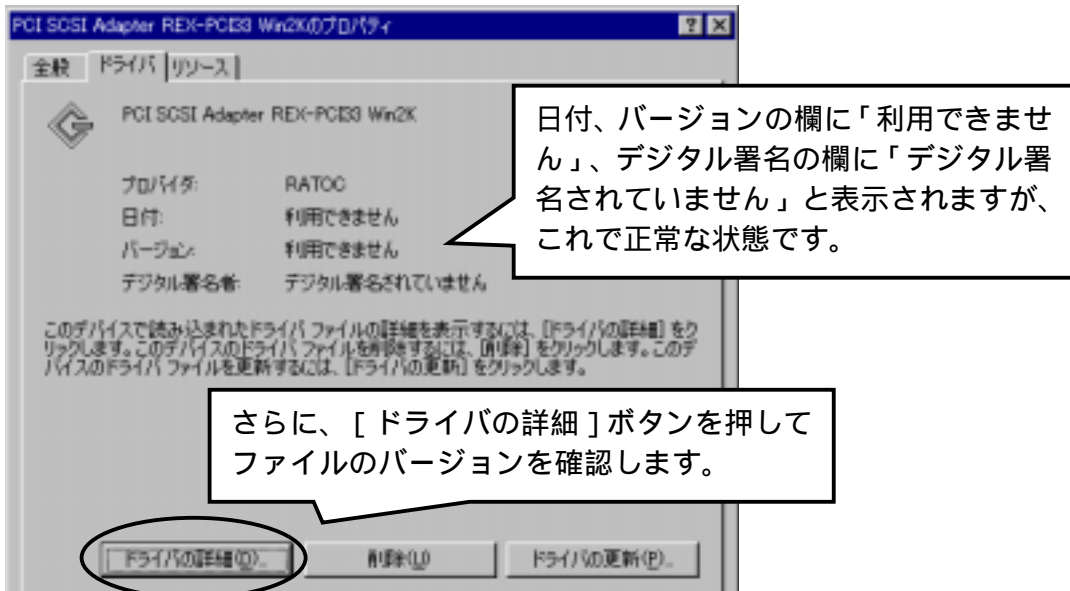
3. 「SCSI と RAID コントローラ」をダブルクリックし「PCI SCSI Adapter REX-PCI33 Win2K」と表示されていることを確認して、さらにダブルクリックします。



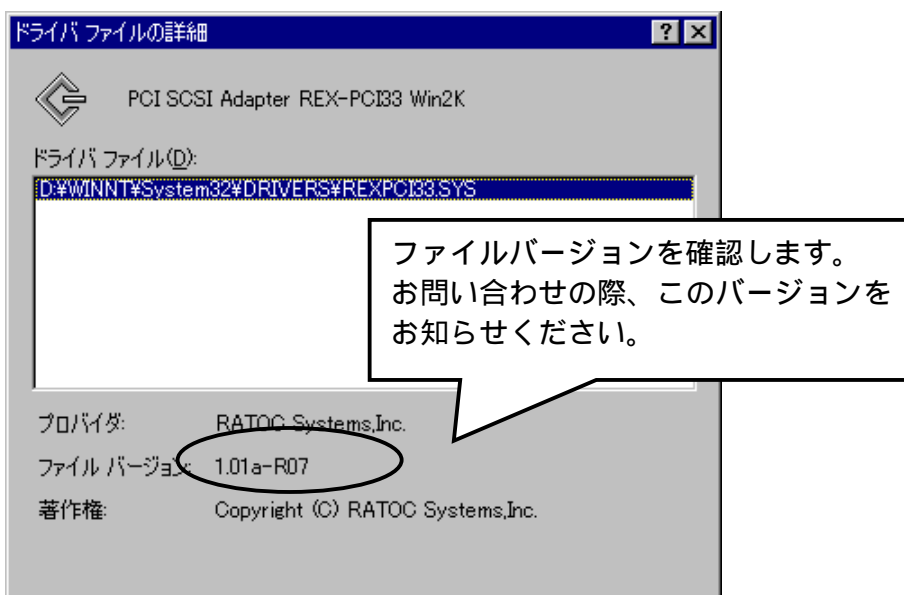
4. 全般のタグを表示します。



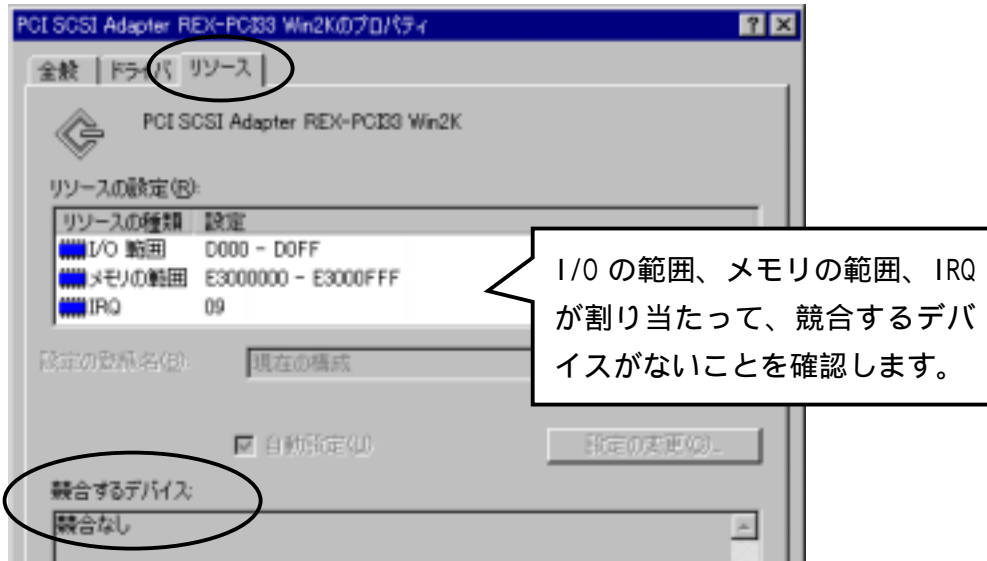
5. ドライバのタグを表示します。



6. ドライバの詳細



7. リソースのタグを選択します。



SCSI ユーティリティのインストール

SCSI コンフィギュレーション(SCUINICN.EXE)のインストールを行います。

1. REX-PC133 Windows 2000 Setup Disk をフロッピーディスク装置にセットしデスクトップ画面の[マイコンピュータ]からフロッピーディスクのアイコンをダブルクリックします。
2. SCSIUT ディレクトリのSETUP.EXE をダブルクリックして起動します。



3. 画面の指示に従ってインストールを進めます。
「Windows の再起動」の確認画面が表示されたら、Setup Disk を抜きます。
4. インストールが正常に終了すると[スタート]ボタンからのプログラムメニューの中に [REX SCSI] [REXSCSI Configuration] が追加されています。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティ (SCUINICN.EXE) とは :
 REX-PC133 の SCSI 構成情報を変更します。
 特殊な設定が必要な SCSI 機器が接続されているとき、本プログラムをお使いください。 SCSI コンフィギュレーション(P14)の説明を参照してください。

2 . SCUINICN - SCSI コンフィギュレーションユーティリティ

ここでは、SCSI コンフィギュレーションユーティリティプログラム(SCUINICN.EXE)の使用方法を説明します。 REX-PC133 の EEPROM に SCSI 構成の設定値を参照および更新します。通常、初期値にてご使用できますが接続する SCSI 機器によっては変更する必要がある場合があります。必ず起動する前に、すべてのプログラムの実行を終了してください。また、SCSI 機器が接続されている場合は、念のために Windows 2000 を終了して一時的に SCSI 機器を取り外してください。

通常、設定の変更は必要なく初期値で最高のパフォーマンスで使用できますが、以下の SCSI デバイスを接続している場合は、設定の変更をする必要があります。

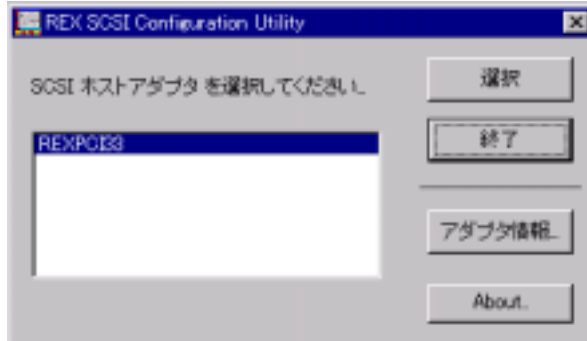
- ・ FUJITSU M2512A および M2513A の MO ドライブ
(転送速度を 10MB/S に設定が必要)
- ・ 一部の Scanner
(転送速度を非同期に設定が必要)

プログラム起動方法

[スタート] ボタンから [プログラム] [REX SCSI] [REXSCSI Configuration] を実行します。

実行中の他のプログラムをすべて終了させてください。

不可能な場合、「終了」を選択してください。



設定を行うカードの
選択で REXPC133 を選
択します。

次項のコンフィギュレーション画面にて設定を、参照および更新してください。

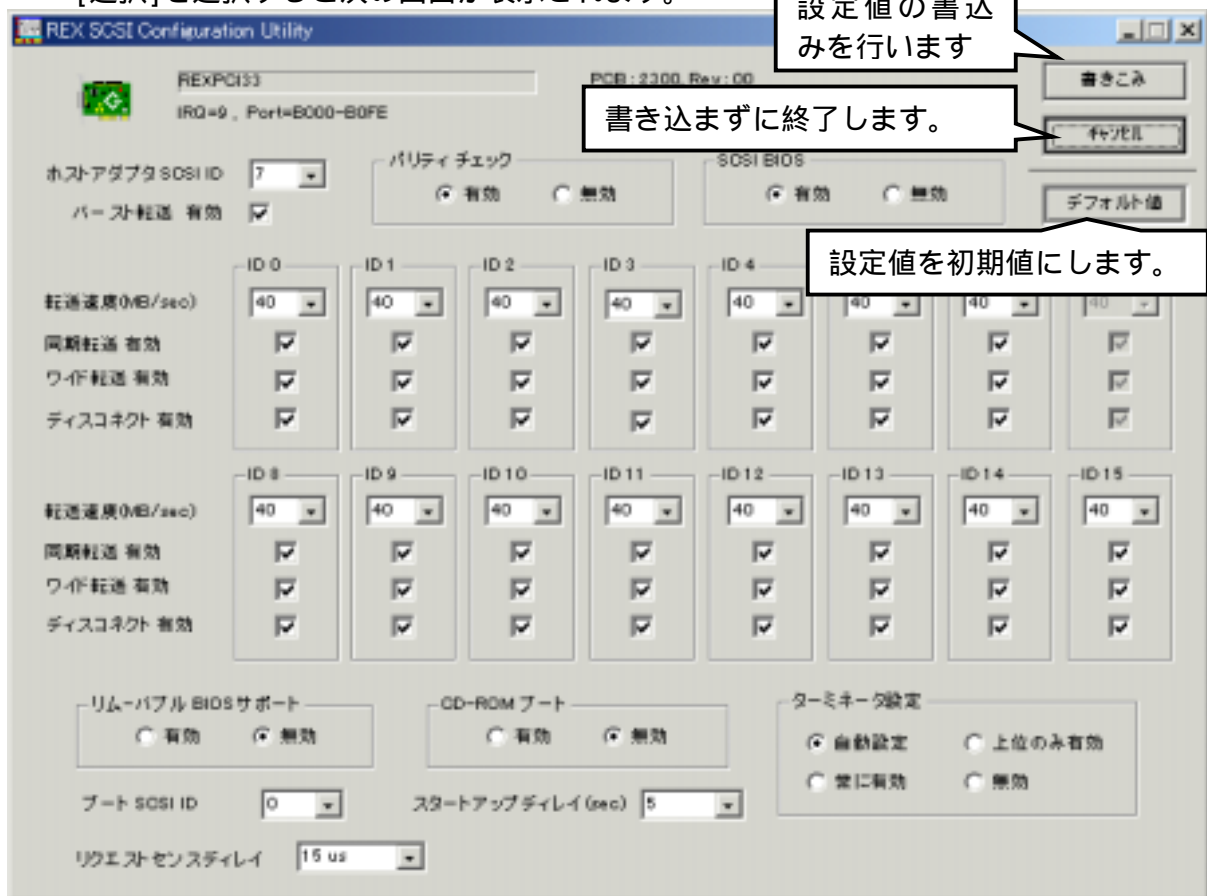
設定を終了したら[書き込み]を押してください。設定値が REX-PC133 に書き込まれます。

アダプタ情報を選択すると以下のようにリソース情報が表示されます。



コンフィギュレーション画面

[選択]を選択すると次の画面が表示されます。



【ホスト SCSI ID】 < 選択値：0 ~ 15 初期値：7 >

SCSI 機器で7以外使用できない場合のみ変更してください。

WideSCSI に対応していない機器を接続する場合は、0~7の範囲で設定してください。

【バースト転送】 < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

PCI バーストがサポートされていない環境の場合、無効に設定してください。

【パリティチェック】 < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

パリティチェック機能のない旧式の SCSI 機器がある場合のみ無効にしてください。

【SCSI BIOS】 < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

本設定を無効にすると SCSI-BIOS はメモリに常駐しません。

【転送速度】 < 選択値：40 ~ 5 初期値：40 >

転送速度は SCSI カードと SCSI 機器の最初のネゴシエーション時に 40、26.6、20、16.6、13.2、11.4、10、5MB/S と落として可能な速度を決定します。

【同期転送】 < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

非同期の SCSI 機器の場合、無効（非同期）を選択してください。

また、動作が安定しないとき無効に設定してみてください。

【ワイド転送】 < 選択値：有効/無効 初期値：有効 >

ワイド転送できない SCSI 機器の場合、自動的にワイド転送モードでなくなります。自動切換えができない場合、無効に設定します。このとき転送速度の数値が半分の値に変更されます。

【ディスコネクト】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：有効 >

この指定を有効にすると SCSI デバイスを一時的に SCSI バスから切り離すことができます。これによりデバイスを一時的に切り離している間に、SCSI カードがバスの他の機能を高速に実行できることがあります。バスが必要な場合に、デバイスと SCSI カードを再度接続することができます。

SCSI 機器接続時動作が安定しない場合、同期転送無効、ワイド転送無効、ディスコネクト無効の設定にしてみてください。

【リムーバブル BIOS サポート】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：無効 >

リムーバブルディスクを固定ディスクと同様に扱います。

有効にした場合、イジェクト時にファイルのオープン中でないことの確認が必要です。

【CD-ROM ブート】 < 選択値：有効 / 無効 初期値：無効 >

SCSI CD-ROM ドライブよりブート可能な CD-ROM を読み込みブートします。

無効にした場合は、Ctrl+B を押したときのみ、この機能が働きます。

WindowsNT 4.0 の CD-ROM からのブートはサポートしていません。

【ターミネータ設定】 < 初期値：自動設定 >

自動設定：SCSI ボード上のターミネータは、接続状態に応じて自動的に設定されます。

上位のみ有効：High ターミネータ有効。Low ターミネータ無効。

常に有効：High ターミネータ、Low ターミネータともに有効。

無効：High ターミネータ、Low ターミネータともに無効。

内蔵 68 ピンコネクタに Wide 機器を接続して、外部コネクタに 68 ピンから 50 ピン変換ケーブルを使用して 50 ピンコネクタの SCSI 機器に接続する場合に限り、**上位のみ有効**の設定にする必要があります。

【ブート SCSI ID】 < 選択値：0 ~ 15 初期値：0 >

SCSI ハードディスクからブートする場合、対象とする SCSI ID を指定します。

【スタートアップディレイ】 < 選択値：1 ~ 20 初期値：6 >

リセット後に次のコマンドをすぐに受け付けられないような SCSI 機器を接続している場合に、SCSI 機器へのリセット発行後、次の SCSI コマンドを発行するまでのウェイト時間を秒数で指定します。

【リクエストセンスディレイ】 < 選択値：0 ~ 30 初期値：15 >

CheckCondition 後に次のリクエストセンスコマンドをすぐに受け付けられないような SCSI 機器を接続している場合に、SCSI 機器から CheckCondition の受信後、次のリクエストセンスコマンドを発行するまでのウェイト時間を μsec で指定します。

3 . SCSI ボード経由で Windows 2000 をインストール

ここでは、REX-PCI33に接続したハードディスクへWindows 2000をインストールする場合およびREX-PCI33に接続した SCSI CD-ROMから Windows 2000をインストール場合のインストールを開始するまでの手順について説明します。

1. Windows 2000 の CD-ROM をセットして CD-ROM からシステムを起動します。
2. 画面左上に「Windows 2000 Setup」と表示されて、画面下に「Press F6 - if you need to install a third party SCSI or RAID driver...」と表示されている間に [F6] キーを押します。
3. インストールの途中で以下の画面が表示されたら、[S]キーを押して、「Specify Additional Device」をします。

```
Setup could not determine the type of one or more mass storage devices
.....
.....
<none>
* To specify additional SCSI adapters, CD-ROM devices, or special
disk controllers for use with Windows 2000, including those for
manufacturer, press S.
* If you do not have any device support disks from a mass storage
device manufacturer, or do not want to specify additional
mass storage devices for use with Windows 2000, press ENTER
S = Specify Additional Device  ENTER = Continue  F3 = Exit
```

4. ディスク挿入を促すしたの画面が表示されます。

```
Please insert the disk labeled

Manufacturer-supplied hardware support disk

into Drive A:

* Press ENTER when ready
```

「REX-PCI33 Windows 2000 Setup Disk」をフロッピードライブにセットして Enter キーを押します。

5. 「RATOC REX-PCI33 PCI SCSI Controller WIN2000」と表示されるのでそれを選択してインストールを続行します。

これで、REX-PCI33に接続されたハードディスクへのWindows 2000がインストールが開始されます。

4 .Windows2000 トラブルシューティング

REX-PCI33 ドライバを完全削除するには

Q:

他のデバイスと REX-PCI33 のドライバが競合しているか確認するためすべての情報を削除したいのですが

A:

REX-PCI33 環境を完全に取り除く方法を説明します。

以下の 3 つの作業からなります。

- SCSI アダプタからの削除
- ドライバファイルと INF ファイルの削除
- レジストリの削除

SCSI アダプタからの削除

1. コントロールパネルを開きます。

[スタート] - [設定(S)] - [コントロールパネル(C)] メニューで開きます。

2. コントロールパネルの中の [システム] を起動します。

[システム] アイコンをダブルクリックします。

3. デバイスマネージャを開きます。

[ハードウェア] タグを選択して [デバイスマネージャ] ボタンを押すとデバイス マネージャの表示に切り替わります。

4. SCSI Adapter を削除します。

[SCSI と RAID コントローラ] をダブルクリックして [PCI SCSI Adapter REX-PCI33 Win2K] がある場合、それを選択して [削除] ボタンをクリックします。

ドライバファイルと INF ファイルの削除

1. [マイコンピュータ] を開き [表示] タグに切り替えます。 [ツール(T)] メニューの [フォルダオプション(O)] にて [ファイルとフォルダの表示] にある [すべてのファイルおよびフォルダを表示する] をチェックします。

2. [スタート] ボタンから [検索] - [ファイルやフォルダ] を選択します。

3. [名前(N):] に「REXPCI33.SYS」と入力します。

4. [探す場所(L):] に Windows 2000 がインストールされているディレクトリ名を入力します。

5. [検索開始(I)] をクリックします。

6. [REXPCI33.SYS] が表示されたら、それを選択して削除キー (DEL) を押して削除します。通常 [Winnt¥system32¥drivers] ディレクトリにあります。

7. [名前(N):] に「OEM*.INF」、 [含まれる文字列(C):] に「REX-PCI33」と入力します。

8. [探す場所(L):] に Windows 2000 がインストールされているディレクトリ名を入力します。

9. [検索開始(I)] をクリックします。
10. [OEM*.INF] が表示されたら、ファイルを開いて REX-PCI33 の情報ファイルであることを確認します。そのファイル(OEM*.INF)を選択して削除キー(DEL)を押して削除します。通常[Winnt%inf]ディレクトリにあります。

レジストリの削除

レジストリエディタの使用方法を誤ると、システムに重大な障害が発生する可能性があります。使用に関しては、十分に注意してください。

1. [スタート] ボタンから [ファイル名を指定して実行] を選択します。
2. [名前(O):] に「REGEDIT」と入力して [OK] ボタンをクリックします。
3. [HKEY_LOCAL_MACHINE] - [SYSTEM] - [CurrentControlSet] - [Services] - [REXPCI33] と順番に開きます。そして、ImagePath の文字列が [System32%DRIVERS%REXPCI33.SYS] であることを確認し、[REXPCI33] を選択して削除キー(DEL)を押して削除します。この記述が複数の場合、すべてなくなるまで削除します。



4. すべてなくなったら、レジストリエディタを終了します。
これで完全にドライバは削除されました。

Device のプロパティ - SCSI のプロパティでの設定がきかない

Q:

接続機器の Device のプロパティにある SCSI のプロパティで設定を変更しましたが、動作に反映されていません。

A:

Device のプロパティにある SCSI のプロパティで設定を行っても実際の動作には反映されません。

「タグ付きキューを無効にする」および「同期転送を無効にする」の設定は、REX-PCI33 Windows 2000 Setup Disk に含まれる SCSI コンフィギュレーションユーティリティから「キューイング」および「転送速度」の項目で設定してください。

FUJITSU M0(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q:

FUJITSU M0 を採用している古い M0 ドライブを接続するとハングアップします。

A:

FUJITSU M0 を採用している比較的古い一部の M0 ドライブでこのような現象が発生することがあります。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティにて、転送速度を 10MB/S に設定してください。

1. REX-PCI33 に接続してある SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションユーティリティを起動します。
3. FUJITSU M0 に該当する SCSI ID の転送速度を 10MB/S に設定します。
4. OK を押して設定値を書き込みます。
5. SCSI 機器の電源を入れパソコンを再起動します。

スキャナを検出できない場合

Q:

スキャナソフトを起動すると、スキャナを検出できないというエラーが表示されて使用できません。

デバイスマネージャから確認するとスキャナは認識できています。

A:

Windows 2000 用の ASPI マネージャ (WNASPI32) を必要とするスキャナソフトで ASPI マネージャが組み込まれていない場合に発生します。

REX-PCI33 には、Windows 2000 用の ASPI マネージャは添付しておりませんので、市販の Windows 2000 用の ASPI マネージャを別途ご用意ください。

M0/PD でフォーマットが完了しない場合

Q:

M0 または PD のフォーマットを実行するとフォーマットが完了しません。

A:

Windows98/95 上でフォーマットされたメディアを使用する場合に発生します。

Windows 2000 上のフォーマット機能は、スーパーフロッピー形式 (Windows98/95 での一般的な形式) には対応していません。

本製品に添付されている Windows98/95 用フォーマットユーティリティを使用して、Windows98/95 上で FDISK 形式でのフォーマットを行うと、Windows2000 上でフォーマット可能となります。

ドライブ名が割り当たらない場合

Q:

デバイスマネージャの確認では OLMPUS MOS341 (例) と表示されているが、マイコンピュータにリムーバブルアイコンが表示されません。

A1:

ネットワーク環境が既に構築されている場合、空きのドライブ名がないためリムーバブルディスクとしてのドライブ名の確保ができない場合、このようになります。

ネットワーク環境をチェックしなおしてください。もしくは、ネットワークカードを外して先に SCSI カードの認識を行ってください。

A2:

D: ドライブに CD-ROM 等のアイコンがあり、それが D: ドライブ固定としてある場合おこります。ドライブ固定の設定を止めるか他のドライブ名を割り当てます。

変更は以下の手順で行います。

1. [コントロールパネル] の [管理ツール] を開きます。
2. [コンピュータの管理] を起動して [記憶域] の下の [ディスクの管理] を選択します。
3. CD-ROM を選択状態にして「ドライブ文字とパスの変更」を行います。